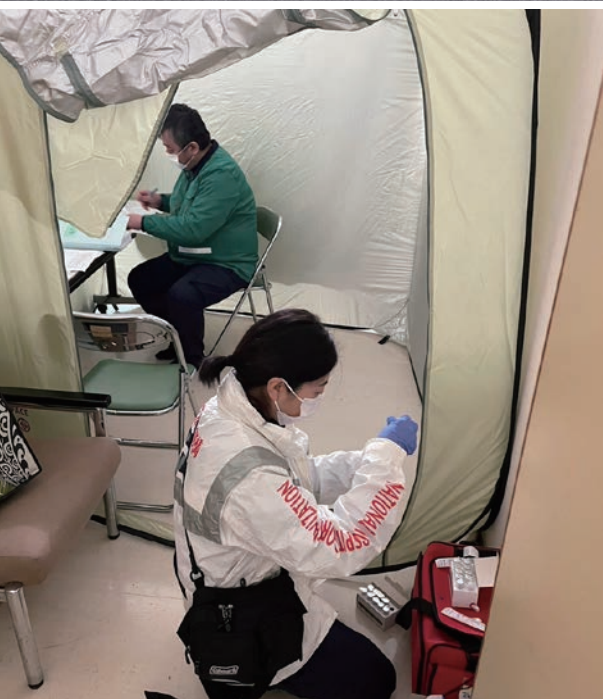




岩国医療センターだより

2024年3・4月号 VOL.152

ご自由にお持ちください。



能登半島地震における医療支援活動

まぐろ

② 特集【消化器内科だより】
炎症性腸疾患の新規治療薬について

④ 【看護部だより】6階西病棟紹介

⑤ 【栄養管理室だより】
「低栄養」を予防しましょう

⑥ 令和6年能登半島地震における
医療支援活動

⑦ 【かかりつけ医のご紹介】
はせがわクリニック

⑧ インフォメーション



特集

炎症性腸疾患の 新規治療薬について



統括診療部長
藤本 剛

医学博士 岡山大学医学部医学科臨床教授
日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本消化器病学会 消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会
消化器内視鏡専門医 / 同学会中国支部評議員

炎症性腸疾患について

原因不明の炎症性腸疾患¹⁾には潰瘍性大腸炎・クローン病があります。

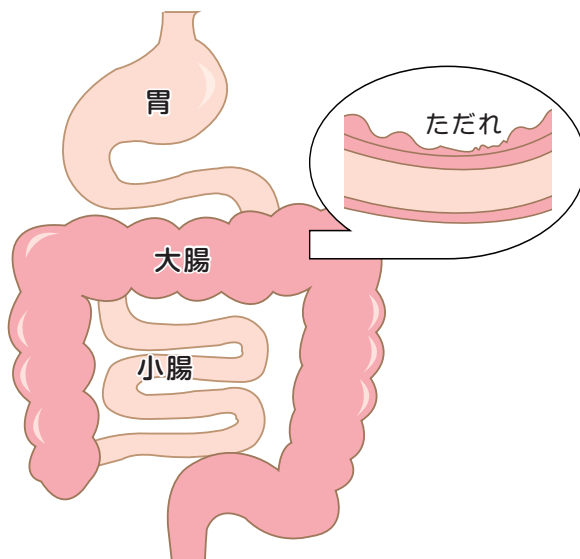
いずれも若い頃に発症することが多く、腹痛・発熱・下痢・血便等の症状が長期間続き、貧血や低栄養による体重減少を来し来院されることが多い病気です。

以前は頻度の低い病気とされていましたが、現在では潰瘍性大腸炎は20万人、クローン病は5万人の患者さんがいるとされ、決して珍しい病気ではありません。両疾患は難治性疾患で厚生労働省が指定する指定難病（特定疾患）となっており、診断した医師と相談し、病状にもよりますが、治療費の公費援助が受けられる病気です。

1) 炎症性腸疾患

炎症性腸疾患については、広義には腸に炎症を起こす疾患全てを指しますが、狭義には炎症性腸疾患のうち、原因が不明で長期間に渡り炎症が持続する難治性の腸炎を意味しています。この中に潰瘍性大腸炎とクローン病があります。（厳密には両疾患のどちらかが特定されない分類不能の炎症性腸疾患もありますが、一般向けではないので割愛します。）

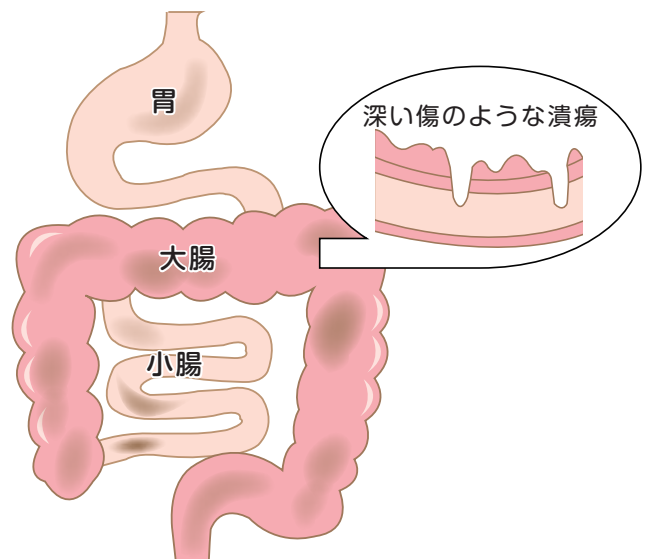
潰瘍性大腸炎



潰瘍性大腸炎

…大腸の粘膜に炎症や潰瘍、ただれができる病気

クローン病



クローン病

…消化管のどの部分にも炎症や潰瘍ができる病気

治療について

これらの病気に対する治療については、以前は5-ASA製剤（ペンタサ他）とステロイド剤しかありませんでしたが、2002年に抗TNF α 抗体製剤であるインフリキシマブ（レミケード）がクローン病治療薬に認可、2010年にはアダリマブ（ヒュミラ）追加で使用可能となり、目覚ましい進歩を遂げました。

また、2010年にはインフリキシマブは潰瘍性大腸炎の治療薬に認可され、その後2013年にアダリマブ（ヒュミラ）も使用可能となり、以前は入院や手術が必要であった患者さんがこれらの治療薬で日常生活を取り戻せるまで回復されました。



新しい治療薬

しかし、長期間の使用で抗TNF抗体製剤に対する自己抗体が出現し治療効果が減弱する症例も増加したため、新規薬剤の出現が期待されていました。

その後、2017年に抗IL12/23p40抗体製剤であるウステキヌマブ（ステラーラ）がクローン病に適応追加となり、2018年にJAK阻害剤のトファシチニブ（ゼルヤンツ）が潰瘍性大腸炎に使用可能となりました。

さらにベドリズマブ（エンタイビオ）も追加、2022年・2023年にはフィルゴチニブ（カログラ）、ウバダシチニブ（リンヴォック）、カロテグラストメチル（カログラ）、リサンキズマブ（スキリージ）、ミリキズマブ（オンボー）も発売となり、治療薬の選択肢が増えました。詳細は表にまとめています。

ただし、これらの新規治療薬は高価な薬剤で特定疾患の申請後に導入され、専門医による定期観察や副作用のチェックが必要とされています。

【炎症性腸疾患に使用可能な治療薬（免疫に作用する新規治療薬を中心に抜粋）2024年1月現在】

一般名	薬剤名	投与方法	適応疾患	分類
タクロリムス	プロGRAF他	内服	UC	カルシニューリン阻害薬
インフリキシマブ	レミケード他	点滴静注	UC/CD	抗TNF α 抗体製剤
アダリマブ	ヒュミラ他	皮下注射	UC/CD	抗TNF α 抗体製剤
ゴリブマブ	シンボニー	皮下注射	UC	抗TNF α 抗体製剤
ウステキヌマブ	ステラーラ	点滴静注で導入後皮下注射	UC/CD	抗IL-12/23p40抗体製剤
ベドリズマブ	エンタイビオ	点滴静注、皮下注射	UC/CD	$\alpha 4 \beta 7$ インテグリン阻害剤
リサンキズマブ	スキリージ	点滴静注で導入後皮下注射	CD	抗IL-23p40抗体製剤
ミリキズマブ	オンボー	点滴静注で導入後皮下注射	UC	抗IL-23p19抗体製剤
カロテグラストメチル	カログラ	内服	UC	α インテグリン阻害剤
トファシチニブ	ゼルヤンツ	内服	UC	JAK阻害剤
フィルゴチニブ	ジセレカ	内服	UC	JAK阻害剤
ウバダシチニブ	リンヴォック	内服	UC/CD	JAK阻害剤

※ UC: 潰瘍性大腸炎、CD: クローン病

おわりに

これまでに潰瘍性大腸炎・クローン病と診断され、従来の治療でも症状が持続・悪化している方がおられましたら、当院消化器内科にご相談ください。





6階西病棟紹介

6階西病棟 看護師長 森下 早苗



当病棟は、産婦人科・小児・NICU（地域周産母子センター）を有する病棟です。



当院は地域周産期医療センターとして、地域の医療機関と連携しなら24時間体制で緊急入院等の受け入れを行っています。産科と小児科、NICUが同じ病棟であることから、医師、看護師、助産師の情報交換や連携が可能であり、ハイリスク妊産婦の方も協働して対応を心がけています。

産科

産科では、安全な分娩のための母体管理や出産前後の不安な気持ちに寄り添えるような看護を行っています。

「出産」は、赤ちゃんにとって人生の始まりの瞬間であり、お母さんや赤ちゃんだけでなくご家族にとっても大切な時間だと思います。ここ数年、新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い制限されていた分娩時の面会も昨年再開し、赤ちゃんの誕生を祝うご家族の微笑ましい姿が戻ってきて、わたしたちの喜び・感動へとつながっています。

出産後、母乳育児に対する不安を話されるお母さんもおられます。当病棟には、アドバンス助産師（日本助産評価機構でレベル認定を受けた助産師のことをいいます）の資格を有する助産師が3名在籍しており、その助産師が中心となり、入院中から母乳育児不安を少しでも和らげ、育児に取り組んでもらえるよう母乳育児支援にも力を注いでいます。退院されるお母さんからは「この病院でお産ができて本当によかったです」と優しいお言葉をいただくこともあり、スタッフの励みになります。



母乳育児について援助しています

婦人科

婦人科では、手術や化学療法など治療目的に入院される患者さんに対して、身体面でのケアのみならず、院内のがん看護専門看護師、緩和ケアチーム、化学療法チーム等の多職種チームと連携し精神的なサポートも行っています。

小児科

小児科は、15歳未満のあらゆる診療科の患児、感染などの急性疾患だけでなく、手術を受ける患児、慢性疾患を持ち15歳以上の長期入院している患児もおられます。

小児科は、急性疾患で想定外の入院となる場合が多くあります。看護師は、点滴治療や検査を受け入院生活を送る子どもさんに対し、安全に治療が行えるよう、病棟保育士、臨床心理士と連携し、正常な成長発達を促し、頑張りをみとめる関わりを大切にしています。

また、入院中のお母さんやお父さんの不安な気持ちに寄り添えるような家族看護も大切にしています。

病棟保育士と共に子どもさんのケアをしています



プレイルーム

当院の看護体制は、PNS（パートナー・シップ・システム）を導入しており、卓越した小児看護技術を持つ先輩看護師と後輩看護師がペアで患者さんを受け持ちます。小児看護の専門性が高い看護技術を安全に遂行できるよう、勉強会や技術練習なども行っています。

*撮影に関しては、ご両親の許可を得ています

「低栄養」を予防しましょう

栄養管理室
病態栄養専門管理栄養士
永野 優香

低栄養はどうして予防するべきなの？

フレイルという言葉を知っていますか？フレイルとは“加齢により心身の活力が低下した状態”のことです。フレイルが進行すると、要介護状態に陥りやすくなります。低栄養（必要栄養量の不足）はフレイルを進行させてしまう大きな要因の一つであり、予防するためには適正なエネルギー・たんぱく質・ビタミン・ミネラル等の摂取が重要です。

Q&A

低栄養予防に役立つクイズにチャレンジ！

Q1 米飯 150g（普通茶碗 1 杯分）と同じエネルギー量のお粥（全粥）の重量は？

- ① 150g ② 250g ③ 350g

A1 正解は③です。全粥の場合、米飯の約 2 倍量食べる必要があると覚えましょう。



「お粥の方が食べやすいけどこんなに食べられないわ…。」

⇒ 1 回の食事量を減らして間食で補う、栄養補助食品を取り入れる等の方法があります。米飯は、ご自身の握りこぶし 1 個分が 1 食あたりの目安量です。

Q2 次のうち、たんぱく質を多く含む食品は？

- ① お餅 ② 鶏肉 ③ トマト

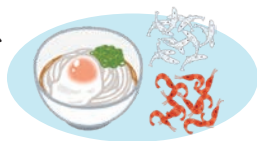
A2 正解は②です。たんぱく質を多く含む食品は、肉・魚貝類・卵・大豆製品・乳製品です。たんぱく質は、骨格筋量維持のためにとっても大切な栄養素です。ご自身の両手分が 1 日あたりの目安量です。



+ α 1 日 1 回の乳製品も忘れずに！

★たんぱく質のちょい足しもおすすめ

例) うどん+温泉卵・桜エビやしらす、食パン+ハム・チーズ、米飯+ミニ納豆・鯉節など



Q3 亜鉛を多く含む食品は？

- ① 牡蠣 ② ブロccoli ③ じゃがいも

A3 正解は①です。亜鉛は、たんぱく質が豊富な食品に多く含まれる傾向にあり、たんぱく質が十分摂れていると亜鉛が欠乏しにくいです。亜鉛不足の状態が続くと味覚異常の原因となり、食欲が低下する方もいらっしゃいます。亜鉛は積極的に摂りたい栄養素です。

Q4 腸内環境を整えるものを全て選んでください

- ① 発酵食品 ② オリゴ糖 ③ 食物繊維

A4 正解は①②③です。オリゴ糖や水溶性食物繊維は、腸内で善玉菌（乳酸菌やビフィズス菌）の栄養源になります。腸管は、免疫担当細胞の半数以上が存在する、消化吸収だけでなく免疫にも関わる臓器です。腸管バリア機能を正常に働かせるために、日ごろからバランスの良い食事を心がけ、腸内環境を整える食品を取り入れられると尚良いですね。

★手軽な組み合わせ

例) プレーンのヨーグルト（発酵食品）
+ バナナ（オリゴ糖・食物繊維）
+ 市販のオリゴ糖シロップ



いかがでしたか？普段の食生活を見直すことで低栄養を予防し、健康寿命をのばしましょう。

当院では、低栄養の患者さんに対する栄養指導を外来・入院患者さんに行っております。患者さんの生活環境に合わせた食事の提案や栄養補助食品の選択等、食事に関することは幅広くサポートさせていただきますので、栄養指導をご希望の患者さんは主治医の先生に相談してみてくださいね。＊食事制限のある患者さんは医師の指示に従いましょう



令和
6年

能登半島地震における 医療支援活動



第1陣 能登半島地震の発生を受け、山口県 DMAT 事務局からの派遣要請に基づき、1月17日(水)から20日(土)まで、能登町で医療支援活動を行いました。

能登半島地震の DMAT 活動について

救急科医長 宮内 崇

令和6年元日に発生した能登半島地震の被災地において、災害派遣医療チーム(DMAT)として地域の診療所や高齢者施設の支援を行いました。当時は、電気は復旧しているものの上下水道はまだ使用できず、現地医療スタッフや施設入所の高齢者が大変な苦勞を強いられているなか、われわれの活動が少しでも役に立てたら幸いです。

メンバー：救急科宮内医長、平田副看護師長(診療看護師)、
十時副看護師長、荒神薬剤師



当院出発



現地での様子



第2陣

中国四国グループの派遣要請に基づき、1月29日(月)から31日(水)まで、輪島市で医療支援活動を行いました。



活動後、帰還

輪島市での医療支援活動について

外科医長 荒田 尚

我々5名は国立病院機構の医療班として派遣され、輪島市避難所支援グループ指揮のもと活動してきました。数カ所の避難所で調査、診療をおこなったほか、出勤要請に応じて急患の初療に従事しました。本部に残り調整員として活躍した隊員もいました。

医療ニーズが減少する状況下、医療班として多少なりとも被災者の方々のお役に立てたのではと思っています。

メンバー：外科 荒田医長、
小川薬剤部長、中野調剤主任、
藤井副看護師長、満田副看護師長



職員でお出迎え



現地での様子、食事中



今月の表紙はこちらの
活動の様子です。

はせがわクリニック



クリニック外観：【患者さんが作っていただきました】

院長 長谷川 大爾
(はせがわ だいじ)



医院の特徴

2017年、部坂内科・循環器科を継ぐ地で開院。市役所からほど近く、徒歩圏内に警察署やコンビニなどがあり、通院に便利な立地です。

広島・倉敷の大規模公的病院にて15年間、内科・循環器内科医として、心筋梗塞・心臓弁膜症に対するカテーテルを用いた体への負荷が比較的少ない治療にあたってまいりました。2016年から、故郷である岩国の地にて岩国医療センター循環器内科チームの一員として診療にあたりました。

その経験を生かし、地域に密着したクリニックとして、内科全般のあらゆる病気を総合的・系統的に診る家庭医・かかりつけ医としての役割をはたし、また循環器専門医として心臓・血管にかかわる疾患の予防医学に携わり、早期発見・早期治療に努めています。

趣味 スポーツ観戦(カーブ・サンフレッチェ・SHO-TIME:大谷翔平)

一言 緊急対応が必要な循環器疾患などの救急外来への紹介を含め、岩国医療センターの先生・スタッフの皆様には大変お世話になっております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

診療で大切にしていること

ふるさとである岩国の地に根ざし、地域の皆様が体のことをお気軽にご相談いただける診療を目指しております。

対応可能な検査

血液検査、レントゲン検査、血圧脈波検査、
超音波骨密度検査、安静時心電図検査、
ホルター心電図(24時間心電図)、
運動負荷心電図検査
(マスター負荷・エルゴメータ負荷)、
心臓・血管超音波検査



入り口



待合室



院内

所在地 〒740-0022
山口県岩国市山手町1丁目10-7

電話 0827-21-1117 **FAX** 0827-21-1207

HPアドレス <https://hasegawa-med.com>

診療科目 内科・循環器内科

休診日 水曜・土曜午後、日曜、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	休	○	○	休

アクセスマップ





外科

2023年度 第1回 市民公開講座

『消化器がんのロボット手術』 ～胃がんと大腸がん～



2023年12月16日(土)13時より、当院研修センターにて市民公開講座を開催しました。

はじめに外科 青木診療部長より「消化器がんのロボット支援下内視鏡手術」についての話がありました。ロボット手術の普及は目覚ましく、特に消化管ではロボット抜きでは語れない状況となりつつあることが示されました。

次は外科 渡邊医長の「胃がんロボット手術」についてのお話でした。症状があってもなくても胃がん検診を受けましょう！と伝えておられました。外科 谷口医長からは「大腸がんのロボット手術」について、「大腸がんは日本人に多い。山口県は検診率が低い。大腸がんの手術療法」などのお話がありました。

講座が終わり、今回の資料を希望者にお配りすることを伝えると、多くの反応があり、皆さん意識を持って聞いておられることが伺えました。



医師の異動

2024年2月29日 退職

耳鼻いんこう科 医師
竹本 怜子



『正月の花』

今年も、池坊さんに花を飾っていただきました。お正月から当院の正面玄関が美しい花でにぎやかになりました。いつもありがとうございます。



いづみ保育園クリスマス会

2023年12月19日(火) いづみ保育園にてクリスマス会が行われました。



クリスマス会が始まる直前、ステージ奥のカーテン越しから赤と白の服をまとった足やおしり、茶色い足がちょこちょこ出てきました。「何かな？もしかしてサンタさん？トナカイさん？」...園児たちみんな釘付けになりました。

やっぱり思っていた通り、サンタクロースさんとトナカイさんが現れ、良い子のみんなにプレゼントをくれました。1人ずつ名前が呼ばれ、サンタさんの所に受け取りに行きました。「サンタさん、ありがとう！」と言っていた子や、少しびっくりして泣いた子もいたけど、みんな嬉しそうでした。

園児たちはプレゼントのお礼に、先生方と一緒に歌をプレゼントしました。両手をいっぱい広げ、一生懸命歌いました。

